

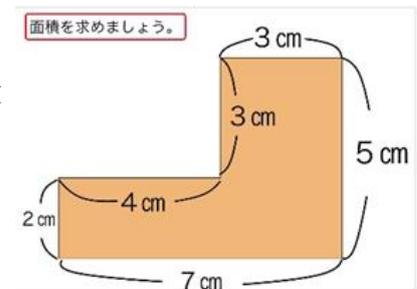
L字型の面積を求めよう

単 元	面積	対象学年	4 年
ね ら い	L字型の面積の求め方を、スクールタクトを使って考えることで、図形の切り離しや書き込みなどの試行錯誤が容易になり、視覚的に考えたり求めたりすることができる。		

1 準備するもの

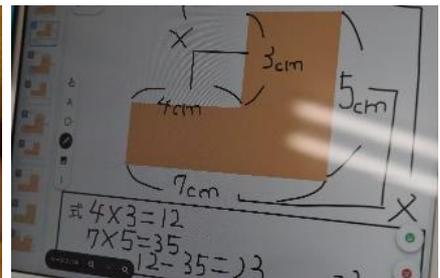
教師：スクールタクトの課題、図形の見本、タブレット端末

児童：タブレット端末



2 学習のしかた

- (1) L字型の図形を子どもたちに見せ、面積の求め方の見通しを立てる。
- (2) スクールタクトで図形を提示し、実際に書き込んだり、図形を動かしたりして考える。(個人解決)



- (3) 考えた解き方を、タブレット端末を見ながらペアで説明し合う。
- (4) スクールタクトを共同閲覧モードにし、ペア以外の考え方も見る時間を確保する。
- (5) 数人が、自分の考えを説明する時間を確保する。
- (6) さまざまな考え方の似ている所や共通点は何か問いかけ、まとめをする。

3 学習上の留意点

- ・図形を動かしただけで終わりにならないように、式や言葉で自分の考えを書くように声をかける。
- ・図形の操作や切り離しをスムーズに行えるように、事前に操作確認を行う。
- ・子どもたちには、タブレットの2画面表示などの必要な操作方法を事前に教えておく。

4 学習の効果

- ・ 図形を切り離して考える際に、試したりやり直したりが簡単にでき、さまざまなパターンを試すことができる。
- ・ 1 cm^2 の正方形を組み合わせて図形を作ることによって、単位面積の個数でも考えることができ、面積の基本の考え方も抑えられる。
- ・ タブレット端末を使って説明することで、最初の状態から動かしながら説明をすることができ、説明を聞く側も答えが出るまでの流れが分かりやすい。
- ・ 操作の方法を友達に順序立てて説明する姿も見られた。

5 参考資料

